



すすきのこだより



箱根教育合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

令和6年5月16日（木）

箱根町立仙石原幼児学園

新緑の眩しい季節となりました。小学校からアレンジメントケア方面へ郵便局に向かう道（通称黒道）を歩いていると小鳥のさえずり声が聞こえてきて心地良いです。

入園して1カ月。新入園児は、保護者とわかる時、大泣きをしていたお子さんもすっかり、笑顔の登園になって来ています。先生や友達と一緒に遊びや生活を送る中で友達と笑いあったり、先生達に優しく守られたり、園が安心安全で居心地の良い場になってくれているようです。在園児も新しい担任、新しい部屋など嬉しい反面、不安もあるようですが、一つお兄ちゃん、お姉ちゃんになったことが本当に嬉しくて特に年中、年長組は一人一人張り切っています。そんな子供たちに先生たちから「すごいね。年長になったらそんなこともできるの。」「さすがだね」「ありがとう」とほめ言葉のシャワーを浴びて、ますます自己肯定感が上がっています。お家でもぜひ、ほめ言葉をたくさん使って見てください。できて当たり前のことでも褒められるのは嬉しいことです。大人同士も褒め合いましょう。

- ・内科健診を欠席された方は、木村医院を受診していただきます。日程調整をしますので副園長までお願いします。
- ・健康診断が続きます。眼科健診5/23 耳鼻科健診6/13（幼児クラス対象）です。歯科健診6/27（2歳児以上）できるだけ、お休みのないようお願いします。事前に気になる症状がある時は、職員室に連絡ください。



懇談会&家庭教育講座

幼児クラスの懇談会の日に、家庭教育講座を行いました。3歳児の講師は臨床心理士の穂坂恭子先生に「三つごのたましい」というテーマで3歳児の発達をふまえた保護者のかかわり方についての話をしてもらいました。4歳児は巡回相談でお世話になっている宮川真寿美先生に「4歳児の特色や親が大事にすること」を話していただきました。5歳児は、教育相談委員の小澤先生より「就学を1年後に控えて」という話を聞かせて頂きました。いろいろな視点から子育てについて教えて頂くことで、新しい発見も多く、私自身、「目から鱗」でした。その中で、ルールや決まりをすべて大人が決めてやらせようとするのではなく、お子さんと一緒に「約束」として話し合って決めることが大切であることを教えて頂きました。家での約束（食事、遊び、あいさつ等）はたくさんあると思います。年齢に合わせた約束を子どもとともに、決めて、守れた時に一緒に喜び合えると良いですね。先生方への質問や相談等ありましたら、職員室まで連絡をおねがいします。



入園、進級して1ヶ月が経ちました。家での様子はいかがですか。いやいや期、反抗期、乱暴な言葉使い、偏食、発達など子育ての中でお家の方が困っていることや悩んでいることはありますか。担任はもちろん、副園長、園長と話をし、話をするだけで安心につながることもあると思います。面談の希望がありましたら職員室に気軽に声をかけてください。

支援センターによろこそ！

昨年度、支援センターに訪れた親子の総数は、1700人でした。（同じ親子が何回も利用している場合もあります。）そこで支援センターの利用者にアンケートを取りました。

★楽しかったイベントは？

- ・ハロウィン、クリスマス、陶芸、緊急車両乗車体験、スライム作り
- 小麦粉粘土、栄養士の話、保健師の話等

★支援センターはあなたにとって…

- ・親子で楽しく過ごせる場・先生の対応が温かい・母たちの心のオアシス・子どもだけでなく、母親の子育ての伴奏者
- ・いろいろな親御さんとの出会いの場・たくさんの情報が得られる場

利用者からの温かい言葉をたくさんいただき、今年度も引き続き、親子がくつろげる安心安全な支援センターとして行なっていきたいと思います。昨年度、支援センターに通っていた子どもが入園し、今は、毎日数名の親子が通っているだけです。在園児も保護者の仕事の休みの日や保育後の利用も可能です。ぜひ、親子で、支援センターに遊びに来てください。



<昨年助産師さんの話>

支援センターの利用の仕方

- ・利用時間 9時～15時
- ・昼食を持参での利用も可能です。
- ・予約の必要はないです。